

第1分科会 [基礎講座] ①

学童保育ってなあに？—今日の子育てと学童保育の役割—

講師 ^{しげき}重木 ^{なおみ}奈穂美 (全国役員・指導員)

世話人 稲沼 崇 (長野・保護者)

○働く保護者の切実な願いから生まれた学童保育

学童保育は、「安心して働きつづけたい」「子どもたちに豊かな放課後を過ごさせたい。」という保護者の切実な願いから生まれました。

学童保育の歴史の大きな節目になったのは、1998年4月、児童福祉法の「事業」に位置づけられ「放課後児童健全育成事業」として法制化されたことです。そして、厚生労働省令「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」や「放課後児童クラブ運営指針」に学童保育の基準が整理され、「放課後児童支援員」という専門職としての資格も誕生しました。しかし、指導員不足を理由に指導員の配置基準が「従うべき基準」から「参酌化すべき基準」に引き下げられるなどの動きもあり、学童保育を必要とするすべての子どもたちが、安心して放課後を過ごせるように、さらなる学童保育の抜本的な拡充・条件整備の向上が急務な課題です。

○コロナ禍でいっそう明らかになった学童保育の役割と課題

「新型コロナウイルス感染症」の拡大により、昨年3月に学校の一斉休業が要請され、一方で、学童保育は、原則開所が求められました。学童保育の現場では、感染症対策とともに、できるかぎり子どもたちが日常の生活をおくれるよう「生活の場」を保障してきました。あらためて学童保育の役割、必要性が明らかになりました。同時に指導員体制、施設整備、地域格差、学校や地域との連携、専門機関との連携など、学童保育の制度上の脆弱性も明らかになりました。

○学童保育の役割と指導員の仕事

指導員には、学童保育の目的・役割である「子どもの安全を守り、成長発達を保障すること」「保護者が安心して働き続けることを保障し、その家庭の生活を守ること」を具体化していくことが求められます。近年、働く保護者の労働実態は厳しく、身体的にも精神的にも追い込まれている実態もあります。子育てについて不安をもつ保護者も少なくありません。そのような保護者の働きながらの子育てを励まし、支えることも指導員の大切な役割です。

○この講座で学びたいこと

この分科会では、学童保育の基本として次のことを学びましょう。

学童保育の歴史／学童保育の役割／学童保育の役割を果たす指導員の仕事とは／保護者たちの現状と学童保育における保護者の役割／学童保育の現状と課題